

法人（事業所）理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。</li> <li>社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスマールステップで設定し、成功体験に繋げる。</li> <li>地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。</li> </ul>			
営業時間	12 時 00 分 から	18 時 00 分 まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容					
支援方法	個別課題		集団・小集団課題		
本人支援	健康・生活	利用者を主体とした自分で取り組むトイレトレーニングの課題 食具、筆記具等生活で使用する物の練習 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題	教室に慣れ、安心して通うためのスケジュールの理解と流れに合わせた活動（教室ツアー、この前になにができるかな？等） 生活に必要なスキルと知識の習得のための調理活動 健康的な生活を送るための基本的生活習慣・良いルーティンを知る活動		
	運動・感覚	活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 指導員の動きや他者の行動の理解と模倣（指・身体の動き）の課題 指先の機能の向上のための微細運動（例：洗濯ばさみ、プットイン等）の課題	指先の操作や巧緻性のための微細運動（製作等） 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動（体操、ダンス、ボール運動等） 体幹や姿勢保持・ボディイメージの形成のための活動（バランスポール、平均台等）		
	認知・行動	物の上位概念理解を促す活動（仲間分け） 知覚や認知に関わる色や图形を用いた課題（マッチング等） 特性における認知の偏りを緩和し、興味・関心の幅を広げる課題	物の概念（長さ・大きさ）の理解に関わる活動（どっちが大きいかな？、長さ比べ等） 興味・関心の幅を広げるための活動（これってなんだ？、好きな物どれだ？等） 物の上位概念理解を促す活動（仲間分け）		
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための（指差し、身振り、サイン等）の課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わりの課題	文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動（かるた、絵しりとり等） 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動（ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等） 人との相互理解のコミュニケーション活動（他児・指導員に関する〇×クイズ等）		
	人間関係・社会性	社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題（SST） 自身の感情理解やコントロールとしての切替・クールダウンに関する課題 集団への参加や集団での指示理解のための課題	集団の中での順番、工程を守るための活動（よく聞いてやってみよう、順番にできるかな） 複数の利用者同士の適切な関わりの理解のための活動（貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等） 社会性の向上のための活動（SST、ルールを守って協力ゲーム等）		
家族支援	保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。		移行支援	園、その他機関と日常的に連携を行い、行事等の普段と異なる活動の際の利用者への関わりについて、具体的な関わり方のモデルを示す。 日常的な連携に加え、利用者に対して就学に向けての支援について共有を図る。	
地域支援・地域連携	担当の相談支援専門員と定期的に情報交換を行い、相談支援専門員を通して他事業所や園等との連携を進める。 各種関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有することで、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。		職員の質の向上	経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。	
主な行事等	避難訓練（火事、地震、水害、防犯等）、保護者会、クリスマス会、お誕生日会				